



**第229回 ギャラリー展
いろいろ 茶碗 10碗 展
平成28年9月12日
～10月16日まで**

第229回 ギャラリー展

リーグ独走ソフトバンクと誰もが思っていたが突然の失速。
セリーグ25年ぶりの7回目優勝広島カープ。
ほとんど見たことなかったパナソニック。これほど激しいスポーツとは思いませんでした。
目からうろこで興奮しながら応援しています。鳥肌ものです。驚きです……。

第229回ギャラリー展は、いろいろ茶碗10碗展を開催します。

今回は楽茶碗、高麗青磁茶碗、唐津茶碗、志野茶碗、小代茶碗を展示しました。

楽焼は茶道のためにあるといっても過言ではない器。桃山時代の利休が育てた焼き物。
低焼成の特徴をいかし、柔らかくとろけそうな雰囲気を持つています。
高麗青磁茶碗は元祖朝鮮の焼き物でいろいろある焼き物の中で最高峰の器といわれる凛とした姿が特徴です。篋による絵も見事です。
唐津焼は九州の誇る焼き物で桃山時代から引き続き唐津地方で焼かれる生活用品から茶道に登用された日本人に愛される古里の匂いを持つ器です。
志野茶碗は日本独特の焼き物で形状もさることながら厚くかかった釉薬の溶け具合、発色の変化が楽しめる感性豊かな器です。
小代焼は地元南関小岱山付近で発達した焼き物です。
日常雑器が主に焼かれたと言われていますが茶道の道具も焼成されています。
鉄分の多い荒い土に藁灰の釉薬がかかり発色の変化が楽しめます。

少ない点数ですがじっくり鑑賞するにはぴったし手頃です。
ゆっくりとお楽しみください。

**第229回 ギャラリー展
いろいろ 茶碗
10碗 展
平成28年9月12日～10月16日まで**